エコアクション21

2025年度　環境経営レポート

（活動期間　2025年4月1日～2026年3月31日）

エコアクション21

株式会社　ドプコ

発行日　2026年3月23日

も く じ

会 社 概 要	1
環 境 経 営 方 針	2
環境経営システム組織図	3
環境経営目標とその実績	4
2025年度 活動計画	5
2026年度 活動計画	7
環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	9
環境関連法規の遵守状況	19
代表者による全体評価と見直し結果	20

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

会　社　概　要

概 要

- 会社名　　　株式会社　ドプコ
- 所在地　本社　〒739-0443　広島県廿日市市沖塩屋2-10-6
  資材置場〒739-0443　広島県廿日市市沖塩屋4-6323-1
- 電話番号　　０８２９－５４－０９５５
- 代表者名　　代表取締役　舟谷　清
- 環境管理責任者・特別管理産業廃棄物管理責任者
  舟谷　優一
- 設立年月日　昭和　61年　1月　16日
- 事業規模　従業員数　１５名
  敷地面積　80m2
  売上高　３６６百万円　（令和7年度）
- 事業内容　土木工事・建築工事・住宅リフォーム工事・解体工事
- 建設業の許可　広島県知事許可　（特-6）　第19779号
  広島県知事許可　（般-6）　第19779号
- 取引銀行　広島銀行　広島信用金庫
- ＵＲＬ　http：//www.dopclifa,co.jp/

株式会社　ドプコ　×　LIXIL

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環　境　経　営　方　針

基本理念

株式会社ドプコは、「今、私たちが地域のために出来ること」を社会的責務と認識し全事業活動において環境負荷の低減を図り、全社員が一丸となり、自主的・積極的に環境保全活動に取組みます。

行動指針

● 日常業務における行動指針

①　省エネルギーの推進に努めます。
（電気使用量　・　燃料使用量　・　ＣＯ2　の削減）
②　水使用量の削減に努めます。
③　一般廃棄物（可燃物）の削減に努めます。
④　グリーン購入の推進に努めます。
⑤　地域貢献　広島県アダプト制度に協力します。
⑥　法令等を厳守します。
環境法および環境保全に関する条例等を遵守します。

● 土木工事・住宅リフォーム工事・解体工事における行動指針

土木工事

①　土木工事に伴う環境負荷の低減、二酸化炭素の排出量削減に努めます。
②　土木工事では環境に配慮した施工をします。

住宅リフォーム工事

①　お客様のお家のecoリフォームを推進します。

解体工事

①　混合廃棄物を最小限にするため、手作業で分別します。
②　再利用可能な素材は、資源として適切に改修・ルート確保を行います。
③　散水を欠かさず行い、粉塵の飛散を防止します。
④　低騒音型重機の導入や、防音パネルの隙間ない設置を行い、近隣住民への負担を軽減します。
⑤　アスベスト等の廃棄物は、事前調査に基づき特別管理産業廃棄物としての処理フローを遵守し、飛散防止措置を確実に行います。

共通

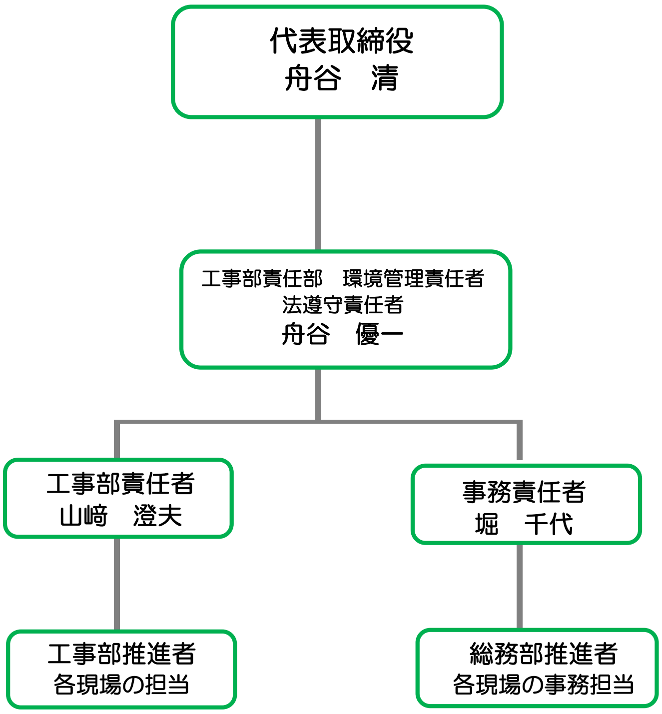
①　資源を無駄にしないように材料のロスを出さない（リフューズ）、資源の消費や廃棄物削減（リデュース）、再使用（リユース）、再資源化（リサイクル）を行う４R運動を実施します。

この方針を全社員に周知し、自ら役割を認識させ環境活動計画を責任を持って推進できるよう環境教育に進めます。

制定日　：　2017年　4月 1 日
改定日　：　2017年 10月11日
株式会社　ドプコ
代表取締役　舟谷　清

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営システム組織図



各担当の役割

● 代表取締役	環境方針を定める、全体の評価・見直し、 人材、資金の用意
● 工事部責任部 環境管理責任者 法遵守責任者	システムの策定、推進の見直し、教育の実施 環境関連法規の厳守状況の確認 環境関連法規の厳守状況の確認
● 工事部推進者	責任者の役割、責任、権限の周知徹底 取組状況の記録管理　提案書の作成
● 事務責任者	記録の作成・管理、システム運用上の事務管理
● 工事部推進者 各現場の担当	新たな取組の提案・推進 取組状況の記録作成・報告、現場管理
● 総務部推進者 各現場の担当	新たな取組の提案・推進 取組状況の記録作成・報告、現場管理

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営目標とその実績

環境負荷・目標達成状況　※2025年4月～2026年3月の取組み結果

環境目標	単位	項目	2024	2025年度				目標達成判定	2026年		2027年度	
			基準年度	目標削減率	目標	達成削減率	実績		削減率	目標	削減率	目標
電気使用量の削減	kWh	事務所	13,233.00	現状維持	13,233.0	96.4	12,762.00	○	現状維持	12,762.00	現状維持	12,762.00
ガソリン使用量の削減	ℓ	全体	7,647.72	現状維持	7,647.7	116.9	8,937.56	×	現状維持	8,937.56	現状維持	8,937.56
CO2排出量の削減	kg-CO2	電気	9,223.40	現状維持	9,223.4	96.4	8,895.11	○	現状維持	8,895.1	現状維持	8,895.11
		ガソリン	17,513.28	現状維持	17,513.3	116.9	20,467.01	×	現状維持	20,467.0	現状維持	20,467.01
		合計	26,736.68	現状維持	26,736.7	109.8	29,362.13	×	現状維持	29,362.1	現状維持	29,362.13
水道水の削減	㎥	事務所	305.00	現状維持	305.0	100.7	307.00	○	現状維持	307.0	現状維持	307.00
一般廃棄物の排出量削減再資源化率向上	kg	可燃物	145.05	削減	145.05	▲0.07	135.37	○	削減	135.37	削減	135.37
		再資源化	1,033.55	再資源化率の向上	1,033.55	▲0.02	1,009.31	○	再資源化率の向上	1,009.31	再資源化率の向上	1,009.31
		合計	1,178.60	—	1,178.60	▲0.03	1,144.68	○	現状維持	1,144.68	現状維持	1,144.68
一般廃棄物の再資源化率	%	事務所	87.69	再資源化率の向上	87.69	0.01	88.17	○	再資源化率の向上	88.17	再資源化率の向上	88.17
建設廃棄物の排出量削減再資源化率向上	t	埋立処理	—	削減	—	—	3.00	○	削減	3.00	削減	3.00
		再資源化処理	—	再資源化率の向上	—	—	1,158.81	○	再資源化率の向上	1,158.81	再資源化率の向上	1,158.81
		合計	—	—	—	—	1,161.81	○	現状維持	1,161.81	現状維持	1,161.81
建設廃棄物の再資源化率	%	全体	—	再資源化率の向上	—	—	99.74	○	再資源化率の向上	99.74	再資源化率の向上	99.74
地域貢献活動アダプト制度	回	全体	3	-	3	-	3	○	-	3	-	3
環境配慮工事（土木工事）（ﾘﾌｫｰﾑ工事）	―	現場	環境に配慮した工事	環境に配慮した工事				○	-	環境に配慮した工事	-	環境に配慮した工事
環境配慮工事（4R再利用）	%	現場	再資源になるもの100%	再資源になるもの100%				○	-	再資源になるもの100%	-	再資源になるもの100%
環境配慮工事（4R再資源化）	%	現場	再資源になるもの100%	再資源になるもの100%				○	-	再資源になるもの100%	-	再資源になるもの100%
ドプコ祭り	回	全体	0	-	1	-	0	×	-	1	-	1
グリーン購入の推進	品目	事務所	エコ商品の優先購入	エコ商品の優先購入				○	エコ商品の優先購入		エコ商品の優先購入	
	%	現場	設計図書に従いグリーン購入製品の搬入	設計図書に従いグリーン購入製品の搬入				○	設計図書に従いグリーン購入製品の搬入		設計図書に従いグリーン購入製品の搬入	
生物多様性の保全活動	―	全体	無農薬野菜の栽培緑化活動	無農薬野菜の栽培・緑化活動				—	無農薬野菜の栽培緑化活動		無農薬野菜の栽培緑化活動	

※CO2総排出量計算値　電気　：1kwhにつき0.697kg-CO2
ガソリン　：1Lにつき 2.29kg-CO2（ReCooデータ参照）

※ガソリン使用量データは、2025年度報告より「ReCoo登録データ」を使用します。

※化学物質の使用量が少ないため環境目標の策定は行わず、化学物質を適正に管理していることを定期的に確認します。

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2025年5月1日

２０２５年度　活動計画

●日常業務・土木工事・住宅ﾘﾌｫｰﾑ工事における行動指針

二酸化炭素排出量の削減

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
電気使用量	電気はこまめに消す	現状維持（2024年度実績 13,233kWh）	舟谷優一
	複合機は内蔵の人感センサーで必要のない時には自動で消灯し、稼働時間を抑え、　無駄な電気代の削減をする		
	社内の照明をLEDに替える		
	エアコンの温度は 夏は28℃ 冬は20℃に設定する		
	エアコン稼働時はフィルター清掃を毎月する		
	エアコン不要な時期はブレーカーは切る		
	クールビズ、ウォームビズの徹底を推進する		
	現場で必要ない時は使用をしないようにする		

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
ガソリン使用量	燃費向上に直結するメンテナンスの実施（タイヤの空気圧・エンジンオイル・バッテリー）	現状維持（2024年度実績 7,046.03ℓ）2月末時点	松尾浩
	ﾏﾅｰ走行、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの推進をする（ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ教育の徹底）		
	自主点検の実施を推進する		
	個人別使用量の管理をする		
	近隣の現場に行く際は、徒歩または自転車を利用する		
	現場ごとに車輌を決め、使用台数を減らすようにする		

水使用量の削減

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
節水	水道蛇口の漏水確認（メーター器を確認）をする	現状維持（2024年度実績 305㎥ 2月末時点）	堀千代

廃棄物排出量削減

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
一般廃棄物（可燃物）	コピー用紙の裏紙活用、封筒の再利用、コーヒー豆やお茶など（入りかす）は畑の肥料	現状維持（2024年度実績 159.5kg）	舟谷優一
一般廃棄物のリサイクル率	リサイクルできるものの分別を徹底する カン・ビン、ペットボトルは資源ゴミとして排出する 段ボール、新聞雑誌等の古紙リサイクル	100%	舟谷優一

地域貢献

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
アダプト制度	地域の道路・河川の清掃をする	年3回	堀千代

環境配慮

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
土木工事 リフォーム工事	環境に配慮をした工事を施工する	1工事 1取組以上	山﨑澄夫 栗林英幸

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
4Rリユース	現場で発生した土は同じ現場で再利用、又は、リサイクル施設等へ搬出する	―	舟谷優一
4Rリサイクル	現場で発生するリサイクル可能な建設副産物はリサイクルをする	―	

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
ドプコ祭り	端材などを利用してお客様とＤＩＹをする 端材などを無料であげる(イベント自粛中)	年1回 (自粛中)	堀　千代

グリーン購入

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
グリーン購入	グリーン商品を優先して購入する	―	小原　由美

生物多様性の保全活動

環境方針	取　組　内　容	2025年目標	責任者
生物多様性の保全活動	無農薬野菜の栽培・緑化活動	―	堀　千代

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

２０２６年度　活動計画

●日常業務・土木工事・住宅ﾘﾌｫｰﾑ工事における行動指針

二酸化炭素排出量の削減

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
電気使用量削減	電気はこまめに消す	現状維持 （2025年度実績 12,762kWh）	舟谷優一
	複合機は内蔵の人感センサーで必要のない時には自動で消灯し、稼働時間を抑え、　無駄な電気代の削減をする		
	社内の照明をLEDに替える		
	エアコンの温度は 夏は28℃ 冬は20℃に設定する		
	エアコン稼働時はフィルター清掃を毎月する		
	エアコン不要な時期はブレーカーは切る		
	断熱窓へのリフォーム		
	現場で必要ない時は使用をしないようにする		

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
燃料使用量削減	燃費向上に直結するメンテナンスの実施 （タイヤの空気圧・エンジンオイル・バッテリー）	現状維持 （2025年度実績 8,937.56ℓ）	松尾浩
	ﾏﾅｰ走行、ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの推進をする（ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ教育の徹底）		
	自主点検の実施を推進する		
	個人別使用量の管理をする		
	近隣の現場に行く際は、徒歩または自転車を利用する		
	現場ごとに車輌を決め、使用台数を減らすようにする		

水使用量の削減

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
節水	水道蛇口の漏水確認（メーター器を確認）をする	現状維持 （2025年度実績 307㎥ 1月末時点）	堀千代
	資材置き場（土場）や現場では、貯めている雨水を有効利用する		

廃棄物排出量削減

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
一般廃棄物排出量削減（可燃物）	生ゴミは、生ゴミ処理機で乾燥させ、肥料として利用する	現状維持 （2025年度実績 135.37㎏ 2月末時点）	舟谷優一
	両面使用した不要なコピー用紙は、再生可能廃棄物としてリサイクルセンター等へ搬出処分、又は売却する		
一般廃棄物排出量削減（ﾘｻｲｸﾙ可能廃棄物）	リサイクルできるものの分別を徹底する	現状維持 （2025年度実績 1009.31㎏ 2月末時点）	舟谷優一
	カン・ビン、ペットボトルは資源ゴミとして排出する		
	段ボール、新聞雑誌等の古紙リサイクル		
建設産業廃棄物 ・排出量の削減 ・再資源化率の向上	リサイクルできるものの分別を徹底する	（2024年度実績（総排出量）1,161.81ｔ（再資源化率）99.74%）	舟谷優一

地域貢献

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
アダプト制度	地域の道路・河川の清掃をする	年3回	堀千代

環境配慮

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
土木工事 リフォーム工事	環境に配慮をした工事を施工する	１工事 １取組以上	山﨑澄夫 栗林英幸

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
4Rリデュース	事務用コピー用紙の使用量を、ミスプリントの再使用及びデジタル化を促進する事により削減する	―	舟谷優一
4Rリサイクル	現場で発生するリサイクル可能な建設副産物はリサイクルをする	―	

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
ドブコ祭り	端材などを利用してお客様とＤＩＹをする 端材などを無料であげる(イベント自粛中)	年1回 （自粛中）	堀　千代

グリーン購入

環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
グリーン購入	グリーン商品を優先して購入する	―	小原　由美

生物多様性の保全活動

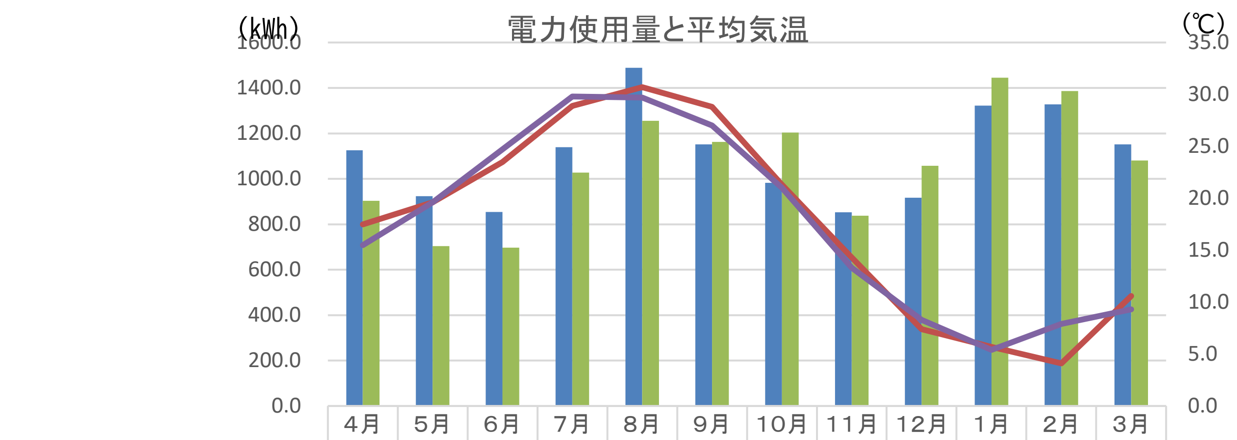
環境方針	取　組　内　容	2026年目標	責任者
生物多様性の 保全活動	無農薬野菜の栽培・緑化活動	―	堀　千代

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　①

電気使用量削減	【取組目標】		
	現状維持		
	2024年度実績	電気使用量	13,233kWh
		CO2排出量	9,223.4kg-CO2

担当　舟谷　優一



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2024年度 使用量(kWh)	1125.0	924.0	854.0	1139.0	1489.0	1151.0	982.0	852.0	917.0	1322.0	1327.0	1151.0	(13,233)
2025年度 使用量(kWh)	903.0	704.0	697.0	1028.0	1256.0	1163.0	1203.0	837.0	1058.0	1445.0	1387.0	1081.0	(12,762)
2024年度 平均気温(℃)	17.5	19.6	23.5	28.9	30.7	28.8	21.3	14.3	7.4	5.7	4.1	10.6	
2025年度 平均気温(℃)	15.50	19.60	24.70	29.80	29.70	27.00	21.00	13.30	8.30	5.4	7.9	9.3	

【　CO2排出量　】　(kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2024年度	784.1	644.0	595.2	793.9	1037.8	802.2	684.5	593.8	639.1	921.4	924.9	802.2	9223.1
2025年度	629.4	490.7	485.8	716.5	875.4	810.6	838.5	583.4	737.4	1007.2	966.7	753.5	8895.1

取組項目
・ 電気はこまめに消す
・ エアコンの温度は夏は28℃冬は20℃に設定
・ エアコン稼働時はフィルター清掃を毎月する
・ エアコン不要な時期はブレーカーは落とす
・ 断熱窓へのリフォーム

持続可能な開発目標（SDGｓ）

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
13 気候変動に具体的な対策を

節電努力の周知状況

エアコンのフィルター清掃状況

窓にシェードを設置

コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　電気使用量削減について				
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出　席　者	舟谷	環境責任者	舟谷	報告者	舟谷
議　　事					
取組結果の評価	・ 各取組項目について、従業員が一丸となり意識を持って節電を心がけ、節電の声掛けをする等した結果、CO2排出量を328kg-CO2削減することが出来ました。 ・ 断熱窓へのリフォームは、予算の関係上出来ませんでしたが、窓にスタイルシェードを追加で取付けたことで、室内の体感温度が下がりました。				
次年度の取組	・ 引き続き、こまめな消灯・待機電力の削減に努めます。 ・ 国の補助金制度を利用して窓を二重窓にし断熱効果を図り、電気使用量の削減に繋げたいと考えています。				

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

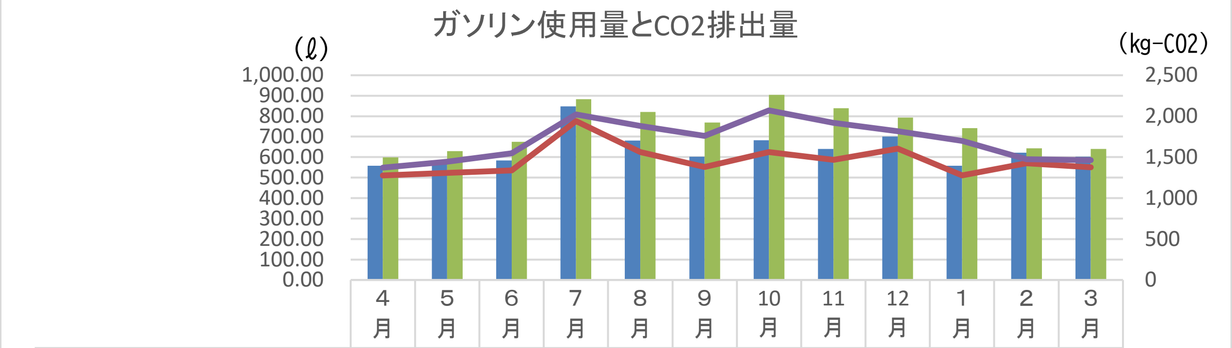
環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　②

<table>
<tr><td rowspan="4">燃料使用量
削減</td><td colspan="3">【取組目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">現状維持</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2024年度
実績</td><td>燃料使用量</td><td>7647.72ℓ</td></tr>
<tr><td>CO2排出量</td><td>17513.28kg-CO2</td></tr>
</table>

担当

松尾　浩

樽屋 一雄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2024年度 使用量(ℓ)	557.3	571.0	583.8	847.3	681.6	601.7	682.2	640.4	700.4	557.9	622.0	601.6	(7,647.72ℓ)
2025年度 使用量(ℓ)	599.1	629.9	675.6	882.9	820.8	768.3	904.2	838.3	792.9	741.8	643.5	639.7	(8,937.56ℓ)
2024年度 CO2排出量(kg)	1,276	1,308	1,337	1,940	1,561	1,378	1,562	1,467	1,604	1,278	1,424	1,378	(17,513kg-CO2)
2025年度 CO2排出量(kg)	1,372	1,443	1,547	2,022	1,880	1,759	2,071	1,920	1,816	1,699	1,474	1,465	(20,467kg-CO2)

【　燃費　】　※ReCooデータより　(km/ℓ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2024年度	18.09	17.52	16.86	15.01	14.46	15.55	15.71	17.05	16.80	15.40	16.00	16.84	16.21
2025年度	16.24	16.89	15.48	13.73	14.45	15.56	16.44	17.32	15.86	16.98	17.25	17.56	16.07
向上率	-10.2%	-3.6%	-8.2%	-8.5%	-0.1%	0.1%	4.6%	1.6%	-5.6%	10.3%	7.8%	4.2%	-0.9%

取組項目
・ マナー走行、アイドリングストップの推進
・ 自主点検、メンテナンス実施の推進
（タイヤの空気圧・エンジンオイル・バッテリー）
・ 個人別使用量の管理
・ 近隣の現場へ行く際は、徒歩または自転車を利用

持続可能な開発目標（SDGｓ）

『燃料計算エコドライブツールReCoo』
https://www.recoo.jp/ja/ecodrive/index.html
エコドライブのためにこのツールを使用しています。
※データ添付

コミュニケーション議事録

<table>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="5">エコアクション２１　燃料削減について</td></tr>
<tr><td>作　成　者</td><td>小原</td><td>開　催　日　時</td><td colspan="3">令和8年3月19日　（2026.3.19）</td></tr>
<tr><td>出　席　者</td><td>松尾・樽屋</td><td>環境責任者</td><td>舟谷</td><td>報告者</td><td>松尾・樽屋</td></tr>
<tr><td colspan="6">議　　事</td></tr>
<tr><td>取組結果の評価</td><td colspan="5">・ 工事件数が減少している割に燃料使用量の減少率は低くなっています。その原因として、従業員の増加と夏季の気温上昇が関係していると考えています。
・ エコドライブ・アイドリングストップ等、従業員が意識して運転する努力はしておりが、燃費向上率の削減には至りませんでした。</td></tr>
<tr><td>次年度の取組</td><td colspan="5">・ 引き続き燃料使用量の削減に努めます。
・ 個人別使用量を日ごろから確認しやすくし、従業員の燃料費削減に対する意識を高める。</td></tr>
</table>

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　③

節水	【取組目標】	
	現状維持	2024年度実績 352㎥

担当　　堀　千代

水道使用量

（㎥）

	4月・5月	6月・7月	8月・9月	10月・11月	12月・1月	2月・3月	
2024年度	63	78	56	62	46		(305)
2025年度	67	70	59	57	54		(307)
前年比	4	-8	3	-5	8	0	

■2024年度　■2025年度　■前年比

取組項目
• 資材置き場（土場）や現場では、貯めている雨水を有効利用する
• 水道蛇口の漏水、出しっ放しはないか確認（メーター器・水道代確認）

持続可能な開発目標（SDGｓ）

節水の周知状況

タッチレス水栓による節水

コミュニケーション議事録

議　題	エコアクション２１　節水について					
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）			
出　席　者	堀	環境責任者	舟谷	報告者	堀	
議　事						
取組結果の評価	• 夏季の記録的な猛暑により、熱中症対策としての散水や手洗い回数が増加したため、若干、使用量増加となりました。 • 従業員への意識付け（節水周知の貼り紙）は行っているが、具体的な「行動の変化」まで至らなかった。					
次年度の取組	• 引き続き、水道蛇口の漏水の確認や手洗い時の水量調節を行い節水に取り組みます。 • 節水によるコスト削減効果を従業員に共有し、自分事化を促します。					

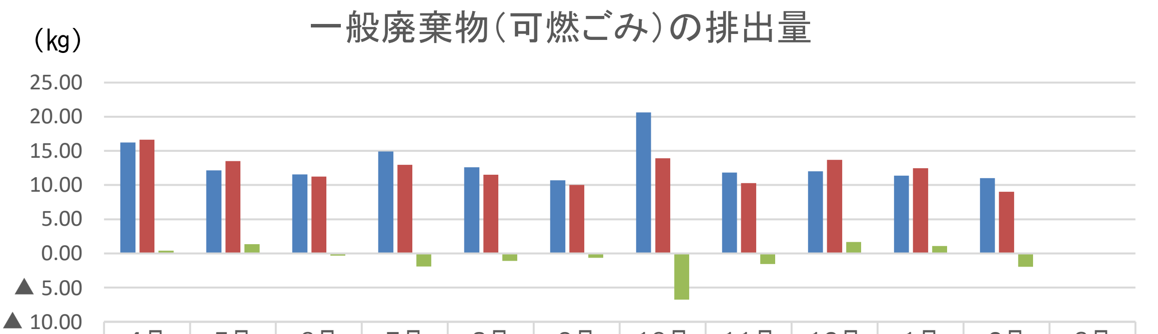
作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　④

一般廃棄物 排出量削減 （可燃ごみ）	【取組目標】	
	現状維持	2024年度実績 159.5㎥

担当　　舟谷 優一

一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2024年	16.25	12.15	11.55	14.90	12.60	10.70	20.65	11.85	12.00	11.40	11.00		(145.05)
2025年	16.65	13.52	11.25	12.99	11.51	10.04	13.91	10.31	13.68	12.47	9.04		(135.37)
前年比	0.40	1.37	▲ 0.30	▲ 1.91	▲ 1.09	▲ 0.66	▲ 6.74	▲ 1.54	1.68	1.07	▲ 1.96	0.00	

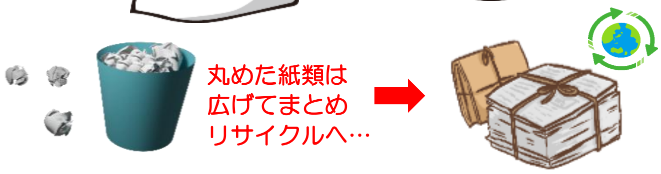
取組項目
• 生ごみは、生ごみ処理機で乾燥させ肥料として利用する
• 両面使用したコピー用紙は再生可能廃棄物として分別処分する

持続可能な開発目標（SDGｓ）

【ごみ1kgあたりのCO2排出量の目安】

区分	CO2排出量の目安（1kg当り）	備考
プラスチック由来のみ	約0.38～0.5 kg-CO2	化石燃料由来の排出としてカウントされる分
全体（生ごみ・紙含む）	約1.5～2.0 kg-CO2	物質が燃える時に物理的に発生する総量

※環境省のデータや各自治体の試算に基づく一般的な目安



コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　一般廃棄物の削減について					
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）			
出　席　者	舟谷	環境責任者	舟谷	報告者	舟谷	
議　　事						
取組結果の評価	• 従業員が一丸となり、一般廃棄物の分別が徹底できた事により、前年比6.7%の排出量削減が実現できました。 • カン及びビンは、資源ゴミとして搬出しました。 • ペットボトルは、ラベルを外し中を綺麗に洗浄してリサイクルゴミとして搬出しました。					
次年度の取組	• 引き続き廃棄物の分別を徹底し、ペーパーレス化を推進し、可燃ごみの削減に努力します。					

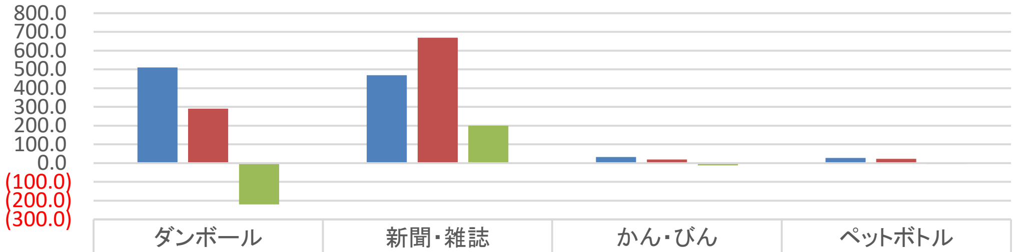
作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑤

一般廃棄物 排出量削減 （ダンボール） （新聞・雑誌） （かん・びん） （ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ）	【取組目標】 現状維持		
	2024年度 実績	ダンボール	510.00㎏
		新聞・雑誌	470.00㎏
		かん・びん	32.20㎏
		ペットボトル	28.55㎏
建設産業廃棄物 排出量削減	排出量の把握		
建設産業廃棄物 再資源化率の向上	再資源化率の把握		

担当　　舟谷 優一

再生可能一般廃棄物の排出量（kg）

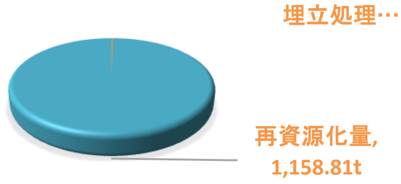


	ダンボール	新聞･雑誌	かん･びん	ペットボトル
2024年度	510.0	470.0	32.20	28.55
2025年度	290.0	670.0	20.00	23.53
前年比	-220	200	-12	-5

建設産業廃棄物の排出量及び再資源化率
（2024年度実績）

建設産業廃棄物の排出量（t）			再資源化率（%）
総排出量	埋立処理	再資源化	
1,161.81	3.00	1,158.81	99.74

建設廃棄物の排出量(トン)



取組項目
・ 新聞紙、雑誌、菓子箱やコピー用紙等の紙類、段ボールはリサイクルセンターへ持ち込む
・ 郵便物の封筒は再利用する
・ カン・ビン類は、資源ゴミとして搬出
・ ペットボトルは、リサイクルゴミとして搬出

持続可能な開発目標（SDGｓ）

コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　一般廃棄物のリサイクルについて				
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出　席　者	舟谷	環境責任者	舟谷	報告者	舟谷
議　　事					
取組結果の評価	・ 新聞紙、カタログ等の雑誌類、菓子箱等の紙類、コピー用紙等の紙類、段ボールは全てリサイクルセンターへ持って行き、目標のリサイクル100%を達成できました。 ・ ダンボール及びかん・びん に関しては、排出量削減に至りました。 ・ カン及びビンは、資源ゴミとして搬出しました。 ・ ペットボトルは、ラベルを外し中を綺麗に洗浄してリサイクルゴミとして搬出しました。				
次年度の取組	・ リサイクルできるものの分別を徹底し、リサイクルセンターへ持って行く、また、再生可能廃棄物として排出します。 ・ 夏季の水分補給には各自で水筒を持参し、極力ペットボトルの排出を減らします。 ・ 建設産業廃棄物については、排出量及び再資源化率を周知し従業員が把握できるようにする。				

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑥

アダプト制度	【取組目標】
	全体で 年３回

担当　　堀 千代

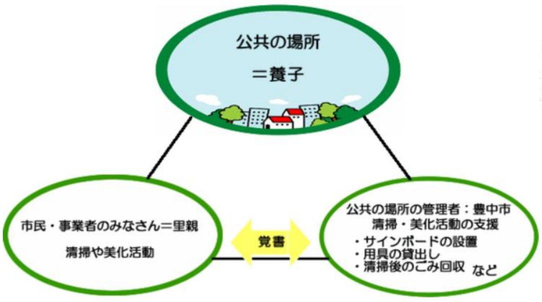
2025年8月 実施

2025年11月 実施

2026年3月 実施

取組項目
• 地域社会への貢献と持続可能な環境づくりを目的として、年３回、地域の公共道路と河川の清掃を積極的に行う。

持続可能な開発目標（SDGｓ）



コミュニケーション議事録

議　題	エコアクション２１　アダプト制度について					
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）			
出　席　者	堀	環境責任者	舟谷	報告者	堀	
議　事						
取組結果の評価	• 2025年度は、8月・11月・3月の3回、町の中心部を通る公共道路と河川の清掃を実施しました。地域の環境美化及び持続可能な環境づくりに貢献できたと思います。 • なるべく多くの従業員で参加することで、社内全体的に持続可能な環境づくりへの意識が高まっていると思います。					
次年度の取組	• アダプト活動の意義を従業員に周知し、参加意識を高める。 • 参加者の意見を反映し、より楽しく継続できる活動へと改善する。					

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑦

環境配慮（土木工事）	【取組目標】
	環境に配慮した工事を施工する

担当　　樽屋 一雄

市道熊ヶ浦鯛ノ原線道路改良工事

👆 使用機械：バックホウ【低騒音・低排ガス ）

👆 安全訓練

👆 危険予知活動

👆 工事周知看板

取組項目
• 環境に配慮した工事の施工を行う。
＊建設機械は環境に配慮したものを優先して使用する
＊使用資材はエコ商品を優先して使用する
＊車両はアイドリングストップの徹底
＊現場の整理整頓

低騒音型　低振動型　排出ガス対策型　低排出ガス車

持続可能な開発目標（SDGｓ）

3 すべての人に健康と福祉を　6 安全な水とトイレを世界中に　7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを　12 つくる責任 つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を　14 海の豊かさを守ろう　15 陸の豊かさも守ろう

コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　環境配慮工事について（土木工事）					
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　　（2026.3.19）			
出　席　者	樽屋	環境責任者	舟谷	報告者	樽屋	
議　　事						
取組結果の評価	• 建設機械は低騒音・低振動・低排出ガス対策型の機械を優先して使用したことで、CO2排出量を抑えることが出来ました。 • アイドリングストップの徹底を図り、CO2排出量及び燃料消費量を抑えることが出来ました。 • 作業終了時は現場周辺の清掃を行ったことで現場周辺が常に整った環境となりました。					
次年度の取組	• CO2排出削減のさらなる推進として、EV（電気自動車）、ハイブリッド車の導入促進を検討。 • 省エネルギー型建設機械の活用。					

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑧

環境配慮（リフォーム工事）	【取組目標】
	環境に配慮した工事を施工する

担当　堀尾 祐太

環境に配慮した製品のリフォーム工事例

断熱効果のある窓の取付

断熱効果のある

節水効果のある水栓の取付

室内温度の上昇を抑える

【2025年度の環境に配慮した主なリフォーム工事】

省エネ製品		施工数	CO2削減量〔平均〕（1箇所当り）	CO2削減量
断熱窓	大サイズ	25箇所	60.0kg-CO2	1500.0kg-CO2
	中サイズ	17箇所	37.5kg-CO2	637.5kg-CO2
	小サイズ	19箇所	20.0kg-CO2	380.0kg-CO2
断熱玄関扉	K２仕様	3箇所	21.5kg-CO2	64.5kg-CO2
	K4仕様	1箇所	30.0kg-CO2	30.0kg-CO2
節水型トイレ	アメージュ	1箇所	100.0kg-CO2	100.0kg-CO2
	Jフィット	1箇所	31.0kg-CO2	31.0kg-CO2
CO2削減量　合計				2743.0kg-CO2

取組項目
• 環境に配慮した工事の施工を行う。
＊お客様のお家のecoリフォームを推進する
＊使用資材はエコ商品を優先して使用する
＊車両はアイドリングストップの徹底
＊現場の整理整頓

持続可能な開発目標（SDGｓ）

コミュニケーション議事録

議　題	エコアクション２１　環境配慮工事について（リフォーム工事）					
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）			
出　席　者	堀尾		環境責任者	舟谷	報告者	堀尾
議　事						
取組結果の評価	• 今年度も環境配慮型リフォーム（省エネ・断熱対策）の施工実績が多くあり、リフォーム後の建物のエネルギー消費量削減が出来ています。 • 工事中は現場内を整理整頓し、廊下にはシート養生を施し、施主様の生活環境を整えるよう心がけました。					
次年度の取組	• 引き続き、国の補助金を活用した環境配慮型リフォームの施工を行っていきます。 • 次年度からは、工期を短縮することで建設機械や車両の稼働時間を減らし、エネルギー消費やCO2排出を抑えられるような施工方法を検討します。					

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑨

環境配慮（4R 再利用）	【取組目標】
	再利用できるもの　100%

担当　堀　千代

発生土の現場内再利用

建設発生土の受入れを行うリサイクル施設へ搬出

持続可能な開発目標（SDGｓ）

取組項目
• 現場で発生した質の良い土は、同じ現場で再利用する。
• 現場で発生したリサイクル可能な土は、リサイクル施設等へ搬出する。

コミュニケーション議事録

議　題	エコアクション21　4R　再利用　について				
作成者	小原	開催日時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出席者	堀	環境責任者	舟谷	報告者	堀
議　事					
取組結果の評価	• 現場にて発生する状態が良い土は現場内で再利用し、搬出に掛かる運搬費・処分費を抑えることが出来ました。				
次年度の取組	• 更に現場内利用できるものはないかの調査に努める。 • 次年度は、リデュース（発生抑制）に取組みます。				

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑩

環境配慮（4R 再資源化）	【取組目標】
	再資源になるもの　100%

担当　舟谷 優一

持続可能な開発目標（SDGｓ）

取組項目
• 現場で発生するリサイクル可能な建設副産物はリサイクルする。

コミュニケーション議事録

議　題	エコアクション21　4R　再利用　について				
作成者	小原	開催日時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出席者	舟谷	環境責任者	舟谷	報告者	舟谷
議　事					
取組結果の評価	• 廃棄物の分別を徹底し、再資源化できるものは極力地元の企業の再資源化施設へ搬出したことで、地元の中で資源が循環できたと思います。				
次年度の取組	• 今後も地域密着型循環ができるよう、これまでの取組みを継続していきます。				

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2026年3月23日

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑪

グリーン購入法適合商品の購入を推進

担当　小原 由美

取組項目

- 環境ラベル（エコマーク、グリーン購入法適合商品等）を取得した製品や、リサイクル素材を使用した製品を優先的に購入する

持続可能な開発目標（SDGｓ）

グリーン購入法適合　Eco　GPN掲載　グリーン購入法

事務用品・備品のカタログに表示

購入したエコ商品の一例

コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　グリーン購入について				
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出　席　者	小原	環境責任者	舟谷	報告者	小原
議　　事					

＜取組結果の評価＞
- 事務所で使用する事務用品及び備品、現場にて使用する資材等に関しては、エコマーク、グリーン購入法適合商品等を優先的に購入するようにしています。
- これまでと同様、環境配慮型製品のカタログを活用し、従業員向けに周知を図りました。

＜次年度の取組＞
- グリーン購入に関する知識について周知を徹底し、従業員の意識向上を図る。

環境経営計画の取組結果とその評価　次年度の取組内容　⑫

生物多様性の保全活動
（無農薬野菜の栽培・緑化活動）

担当　堀　千代

取組項目

- 社屋の周辺に植物を植え、従業員や地域の住民に自然に触れる機会を提供する。
- 資材置き場の一角に畑を設けて無農薬の野菜を栽培する。

持続可能な開発目標（SDGｓ）

【資材置場の畑】
畑は全て無農薬で安全性も高く自然環境を守れています。

『じゃばら』は花粉症の症状を抑える効果があります。

このレモンは酸味が少なく輪切りにしてそのまま皮ごと頂けます。

コミュニケーション議事録

議　　題	エコアクション２１　グリーン購入について				
作　成　者	小原	開　催　日　時	令和8年3月19日　（2026.3.19）		
出　席　者	堀	環境責任者	舟谷	報告者	堀
議　　事					

＜取組結果の評価＞
- 資材置き場の畑では、一年を通して作物の収穫ができました。
- レモンの収穫時期には、ほぼ毎日レモンの輪切りをいただき、従業員の健康促進に役立てました。

＜次年度の取組＞
- 引き続き、様々な植物を育て生物多様性の保全活動に励みます。

作成責任者　舟谷　優一
作成日　2017年　4月　1日
改正日　2017年10月11日
発行日　2026年　3月23日

環境関連法規の遵守状況

環境関連法規	適用条項	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	第3条	委託基準　委託先の許可確認　委託契約の締結	適
	第12条第２項	産業廃棄物保管基準	適
	第12条の2	事業者の特別管理産業廃棄物に係る処理	適
	第12条の3	マニフェスト票の回収・照合の写しを受けるまでの期間	適
	第12条の3第1項	マニフェスト票の交付	適
	第12条の3第5項	マニフェスト票の写しの保管期間	適
	第12条の3第6項	マニフェスト票に関する知事への定期報告	適
	第12条の10	多量排出事業者の処理計画に関する手続き	適
		再委託基準の遵守	適
	第14条第13項	処理困難通知の受理	適
	第16条の2	野外焼却の禁止	適
	第21条3の3	下請人が産業廃棄物処理基準を遵守して、運搬できる	適
	第21条3の2	元請人だけではなく下請人も保管基準を遵守	適
労働安全衛生法	第5条	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業　レベル1の場合　計画届提出	適
	第6条～第9条 第40条～第43条	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業　レベル2の場合　計画届提出、作業主任者の選定　事前調査結果等の表示　隔離作業範囲の拡大と義務の強化　作業環境測定　健康診断等　記録の保存	適
指定副産物利用促進省令	第9条	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	適
再生資源利用省令	第113号	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	適
リサイクル法	第4条第1項	発生抑制　再利用　再生利用　再資源化努力	適
建設リサイクル法	第12条	特定建設資材の再資源化	適
	広島県に遵守する	再資源化された建設資材の使用	適
	第55号	解体工事業許可の取得	適
	第13条	元請業者の書面の交付	適
	第12条2項	下請業者への告知	適
		下請負人に対する元請業者の指導	適
	第10条	計画等の届出	適
容器包装リサイクル法	第13条	容器包装廃棄物を適正に分別排出する	適
家電リサイクル法	第6条	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で処理する	適
小型家電リサイクル法	第6条	国の認定を受けた業者へ引き渡し処理する	適
建設廃棄物処理指針	第13条の2	マニフェストに基づく適正処理の実施	適
建設副産物適正処理推進要綱	遵守	発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備・協力業者の指導等　実施状況の記録を1年間保管	適
建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	遵守	自動車使用の合理化および効率化、運転者への教育、運送手段改善 アイドリングストップの励行	該当なし
オフロード法	第18条第1項	適合証明	適
建築基準法	第8条	石綿含有建材の使用禁止	適
	第20条の6	クロルピリホス添加建材の使用禁止	適
	第20条の7	ホルムアルデヒドに関する規制	適
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	第249条	排出ガス対策型であることの確認	適
騒音規制法	第1条	届出書提出	適
		作業敷地境界にて85デシベル以下	適
振動規制法	第1条	届出書提出	適
		作業敷地境界にて75デシベル以下	適
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	第16条の1	六価クロム溶出試験の実施	適
消防法	第9条の4	少量危険物の貯蔵・取扱の基準　市町村条例で定める届出	該当なし
建築物省エネ法	第53号	特定建築物を除く300㎡以上の建築物　計画届出	該当なし
道路交通法、道路法	第47条第1項	積載基準の遵守	適
建築工事公衆災害防止対策要綱（建築・土木）	第72　第73 第74	【地盤沈下】　付近居住者等への周知・埋設物の確認　土留工の管理　排水処理、杭鋼矢板の引抜き埋戻し時の地盤沈下防止の処置　掘削土排水時の塵芥・騒音防止の設置	適
	第17条	【電波障害】　受信障害除去対策を講ずる場合は、法に基づく届出や申請、並びにＮＨＫへの届出等が必要	適
	第12条	【風塵対策】　付近居住者等への周知・現場に水をまく	適
作業所で同意するその他の要求事項	第5条の2第1項	廃棄物の発生抑制グリーン製品の使用に関する仕様書の該当部分をマークする	適
	土木工事仕様書遵守	時間外での作業は事前に連絡する　19時以降禁止	適
	第9項	粉塵の発生防止　アイドリングストップ	適
	土木工事仕様書遵守	発注者からの要望	適
フロン排出抑制法	第5条第2項	第一種特定製品の簡易点検記録　3ヶ月に1回	適
大気汚染防止法	第18条の15	当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについてを設計図書、その他書面による調査	適

● 当社に適用となる主な環境法等は以上のとおりで、いずれの法規においても、法令を遵守し適切な施工・管理を行っており法令に抵触・違反はありませんでした。
また、過去3年間にわたって訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直し結果

● 今年度も「今、私たちが地域の為になにが出来るか」を合言葉に取り組んできました。
どうしたら節電・削減に繋がるんだろうと社員一人一人が考え、取り組んでいく姿勢を
感じました。今まで以上の努力が必要だが、少しでもエコに繋がるように頑張っていきたい。

項　目	目標	評価	要因分析
電　力	現状維持	○	夏季の記録的な猛暑が影響して、電力の使用量の削減には至らず現状維持となった。断熱窓リフォームの検討をしている。
燃　料	現状維持	△	工事件数は減少しているが、作業の都合上、乗り合わせて移動することが困難で走行距離が増加している。従業員が一丸となってエコドライブに努めた結果、燃料使用量は増加しているが、燃費向上率は良好である。
排水量	現状維持	○	夏季の記録的な某所が影響して、使用量削減には至らず現状維持となった。節水によるコスト削減効果を従業員に共有し、自分事化を促進する。
CO2排出量	現状維持	○	電力・燃料等のCO2排出量の削減には至らず現状維持ではあるが、環境配慮型リフォーム工事の増加によって、CO2排出量の抑制は実現できたと思っている。
一般廃棄物処理量	現状維持	○	可燃物とリサイクル可能廃棄物の分別を徹底し、可燃物の削減に努力はしたが削減には至らず現状維持となった。マイボトルの治さんや自炊の推進を行うことでリサイクルゴミの発生を抑える努力をする。

● 今年度も社員ひとりひとりが高い意識を持ち、地球に優しい企業を目指します。
また地域の方とコミュニ―ケーションをとり、貢献するという気持ちを忘れず取り組みます。

● 今後も環境負荷の低減、廃棄物の削減を行い環境に関する法規則の遵守を徹底
していきたいと思っております。
社外への発信や・環境・エコ商品を積極的にお客様に提案し、更なる環境への
取組の強化に努めます。

● 以上の評価・見直し結果を踏まえ、2026年度も持続可能な社会の実現に貢献すべく、
環境マネジメントの継続的改善を図ってまいります。